

これまでの観光振興財源検討会議で出された意見や、それから見えてきた課題等を踏まえ、今後は県や市町村、DMO等も含めた事業者の役割分担のもと、下記のとおり取り組むことが必要と考えられます。

今後の観光振興施策の4つの方向性

1 魅力あふれる観光資源

- みやぎの魅力を活かした観光資源の発掘・磨き上げ
- 体験型観光などの観光の質の向上
- 歴史的な価値のある観光資源や街並みの再整備 など

2 受入環境の整備促進

- 周遊しやすいインフラ・二次交通の整備・充実
- 東北のゲートウェイ・仙台空港の活用・強化
- 誰もが訪れやすい環境整備 など

3 効果的な情報発信

- 東北一体の広域観光、国内観光地との連携・周遊促進
- インバウンド向けプロモーションの推進
- デジタルマーケティングの推進 など

4 観光産業の体制強化

- 観光施設等の整備・支援
- 明日の観光を担う人材確保・育成
- 魅力ある持続可能な観光地域づくり など

■想定される役割

<宮城県の役割>

- 広域的な観点からの「みやぎ」らしい観光振興施策の実施
- 市町村等が実施する観光振興施策への支援

<市町村の役割>

- 地域の特色を活かした観光振興施策の実施
- 地域の実情に応じた受入環境の整備

<事業者の役割>

- 多様な観光ニーズに応じたプロモーション・旅行商品造成
- 観光客や自治体・観光施設等との連携